［取扱説明書］

冷却水系・水処理複合剤

アフロンＰＦ－２０Ｌ

業 務 用

①　はじめに

レジオネラ菌対策は急務です。土壌菌であるレジオネラ菌は、生息域が広く、一般の土、水などにいる細菌です。当然、冷却水系の汚染もあり、東京都内の冷却水系のレジオネラ菌分析においても４７％から、レジオネラ菌が検出されました。
衛生管理や薬剤処理の計画、効果確認のため、病院では２ヶ月に１回、その他の建築物では６ヶ月ごとに１回、レジオネラ菌検査を実施することが望ましいとされています。

○ 望ましい範囲、１×１０^{2}未満(CFU/100mℓ)
○ 要観察範囲、１×１０^{2}～１×１０^{3}
（菌数の変動に注意し、上昇傾向が見られれば管理を強化する）
○ 要注意範囲、１×１０^{3}～１×１０^{5}
（必要に応じ除菌または洗浄等の対策を講じる）
○ 要緊急処置範囲、１×１０^{5}以上
（直ちに化学的洗浄を行い、抗レジオネラ用薬剤処理を続けながら菌数を監視する）

＊望ましい範囲を持続するには、処理剤の継続使用が必要です。
本剤はレジオネラ菌対策に適した冷却水系処理剤です。

②　特徴

１．冷却水の障害として、レジオネラ菌以外に、スケール障害、腐食障害、スライム（水垢）障害と三つの障害が上げられますが、本剤は強力な分散剤、腐食防止剤、スライムコントロール剤を使用しています。
したがって、レジオネラ菌だけで無く、冷却水のスケール障害、腐食、スライムを防止することが出来ます。そればかりでなく、冷却水の高濃縮が可能となり、水道代金の節約、省エネルギーに大きな効果を発揮します。

２．一液で冷却水管理が可能です。
当然のことですが、**アフロンＰＦ－２０Ｌ**は一液で冷却水の四障害
①レジオネラ菌　②スケール　③腐食　④スライム　の処理が可能ですから、これまでのように二つ以上の処理剤の管理は不要となり、薬注器も一台で冷却水の処理を行えます。

③　**アフロンＰＦ－２０Ｌ**の使用方法

・**アフロンＰＦ－２０Ｌ**を初めて使用する場合で、現在、レジオネラ菌数が非常に多い場合は弊社の**[スーパーＳＳ]**を使用し、一度、冷却水を完全に除菌洗浄処理してください。
・処理濃度は、冷却水への補給水の硬度成分濃度及び冷却水系の条件により異なりますが、一般には冷却水維持濃度を２００ppm～８００ppmにしてください。
・最初の基礎投入量は、２００ｇ/m^{3}～８００ｇ/m^{3}とします。
その後の通常使用量は補給水量１トン当たり、２０g/m^{3}～４０g/m^{3}で１日～２日に１回投入して下さい。

④　取り扱い上の注意

＊ 使用時には必ず保護メガネ、保護手袋、保護マスク等を着用し薬液に触れない様に注意してください。
＊ 薬剤が皮膚に付着した場合には、直ちによく水で洗ってください。
＊ 万一薬剤が目に入った場合は、よく流水で洗い専門医の手当てを受けてください。

ケミスター産業株式会社

〒338-0825　埼玉県さいたま市桜区下大久保 1601-1　TEL 048-858-5002 FAX 048-858-1220

140131HY